



金勝こども園
金勝第2保育園
金勝小学校
9月4日(金)
第2号
(年3回発行予定)

子どもの育ちと学びをみんなで見て・語り合い・つなぐ

金勝こども園 平子裕子

第1号では、今年度の園と学校の保育、教育目標と、その目標に込めた思いをお伝えしました。そして、互いの保育、教育への理解を深め、自らの実践に活かす取り組みを進めています。例えば今年の夏も長期休暇を利用し、小学校の教職員が保育体験を実施しました。園の子どもたちの遊びの中にはたくさんの学びがあふれていることを知り、遊びの中の学びが教科書につながっていることを実体験されました。



その体験での学びや疑問などを今後の実践に活かすため、昨年度に続き、県の幼児教育アドバイザー等による研修を園と学校が合同で開催し、取り組みの事例や経過を出し合い、みんなで語り合い共有しました。具体的に取り組む内容も明確にしました。秋からの保育、教育の実践ではもう一步踏み込み、子ども同士の交流や家庭、地域の方々の理解とご協力のもと、子どもの力を生かした保育、授業づくりにつなぐことを継続的に取組んでいきたいと思います。園と学校がひとつのチームとして子どもたちを支えていく体制を構築していき、これからも架け橋をかけることができる部分をどんどん見出し、ひろげていきたいと思っています。



【取組紹介】水遊びに関わる活動

【金勝第2保育園】『忍者はるさめで遊ぼう』

金勝山の忍者から「忍者はるさめ」と「秘密の粉」が届きました。『透明の“あれ”に入れたら面白いことが起こるよ』と書かれていました。透明の“あれ”ってなんだろう。みんなで相談すると、「水かも」「お湯かな?」「お風呂かな?」と意見が出てきました。一つずつ試すと、“水は少し曲がった”“ぬるいお湯は水より曲がるのが早かった”“熱々のお湯は透明になって柔らかくなった”と大発見がありました。秘密の粉は水に溶かすと赤と青の色水になりました。それを忍者はるさめにかけて色を付けたり、「青と赤を混ぜたら紫になった!」など色が変わったことに驚いたりして、できあがったものを友達と見せ合う姿がありました。自分達で考え試すことや友達と伝え合う経験を大切にしています。



<大切にしたいキーワード>

みてみてきいて、それいいね!(伝え合い)

【金勝小学校】図画工作科『色水づくり』



一人につき2本のペットボトルをもっています。Aくんは赤色と青色の色水をもっています。Bさんは、黄色と緑色の色水です。子どもたちに、「どんな色水をつくりたい?作りたい色水があったら、友だちに色水を分けてもらうんだよ」と声をかけました。Aくんは、紫色の色水をつくるのですが、オレンジ色を作りたいので、Bさんに声をかけます。「ねえ。黄色の色水をちょうだい。赤色の色水と混ぜて、オレンジ色を作りたいんだ」言葉による伝え合いが自然と生まれるように活動を考えました。

【金勝こども園】『みずあそび～いかだ作り～』

一人乗り用の“いかだ”で遊んでいると、「もっと大きいのを作ってみんなで乗りたい」という声のできたので、どれくらいの大きさにするのか、どのように組み立てるのかなど、相談して考え作りました。いざプールに浮かべて乗ろうとすると…テープが外れてしまったり、乗る人が多すぎてつぶれてしまったりして上手くいきませんでした。それでもあきらめずに「もっとペットボトルをつけよう」「こっちのテープのほうが丈夫やで」と試行錯誤しながら、みんなで協力して取り組みました。

裏面に
架け橋期カリキュラム

滋賀県版「架け橋期カリキュラム」共通シート【金勝小学校区】校 園 名（金勝こども園・金勝第2保育園・金勝小学校）

5 歳児

第1 学年

4・5・6・7 8・9・10・11・12 1・2・3 4・5・6・7 8・9・10・11・12 1・2・3

心つなごう 金勝っ子 ～体で感じよう 言葉で伝えよう～

期待する子ども像	健康な心と体	心と体を働かせ、遊びや生活に見通しをもって行動し、基本的な生活習慣を身に付ける。	心と体を十分に働かせ、学習や生活に見通しをもって、自律的に行動し、基本的な生活習慣を身に付ける。
	自立心	自分でやりたいことを見つけ、工夫したり／保護者や友だちに助けてもらいながら、自分のやりたいことに向かって見通しをもって活動する。	これまでの経験をいかして、様々なことに自分なりに考えたたり試行錯誤したりしながら取り組み、「できた」という経験を積み、／ら、ねばり強く取り組み。
大切にしたいこと	言葉による伝え合い	気持ちや思い、考えを自分なりの言葉で伝え、友だちに相談したり話し合ったりする経験を重ねる。	互いの思いや考えを伝えあったり認めあったりして、言葉による伝え合いやいろいろな考えを交流することを楽しむ。
	環境単元	・自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、健康で安全な生活ができる環境の工夫 ・自らやってみようと思えるような環境の工夫 ・友だちと協力や考えを共有できる場の設定 ・遊びが継続できる場の設定	・園で経験したことや子どもの思いをいかし、発展させる単元構成 ・学びの足跡がわかる掲示物の作成
関わり	先生との関わり	・子ども一人一人が安心して過ごせるよう見守り、必要に応じて適切な援助をする。 ・子どもの「やってみよう」の思いに寄り添い、きっかけをつくったり見守ったりする。 ・自分の思いを安心して話せる関わり。 ・友だちと協力や考えを共有できる時間の場の設定	・これまでの経験を引き出す問かけ「どうしてなの？」「どうしたい？」「それいいね」 ・子どもの思いをつなげる、ひろげる、みとめる「どう思う？」「それいいね」 ・次にどうしていききたいかを思い描けるようなふり返りの工夫
	ワークシート	やってみよう！ あきらめない！（心が動く）（粘り強く）	やればできる！（達成感） みてもいいね！（伝え合い）
今回の取組			
主な教育課程・予想される活動	心と体をつくりに関わる活動（通年・4～5）	水あそびに関わる活動（6～7月）	秋あそびに関わる活動（10～11月）
	園 ・リズム遊び ・タイヤ引き ・クモの巣（平ゴム） ・竹の1本橋 など	小 ・体育 ・コースづくり ・〇〇にへんしん ・〇〇おにごっこ など	小 ・園工 ・コース作り ・園語 ・招待状作り ・秋の短作文 ・生活 ・秋みつけ ・お店屋さん ・おもちゃづくり など
健康な心と体	・聴いて動く ・色々な動物になって表現 ・「先生見て」嬉しさを伝えたい	・泥や泡の感触、アサガオを指でもみもみを楽しむ ・泡ですべらないように	・リースの編み込み手先の活動 ・落ち葉を踏み、葉の色に虚無をもつ、五感で感じる
	・自分でするか決める ・子どもがたくなるまで待つ ・自分のタイミングでする	・どうしたら〇〇できるかな？（泡：作るのに必要なもの）（色水：ほしい色の花は？）	・作りたいものをどんどん作る ・自分の得意や友だちの得意をいかして選んでものづくり
自立心	・友だちの姿に気づく ・〇〇ちゃんかっこいい（伝え合い）	・感じたことをどんどん言葉に友だちの作ったものに興味をもち真似る。どうやったの？	・活動時の声かけ「手伝って」 ・お店屋さん 役になりきる ・見たものしたことを伝える
	言葉による伝え合い		